

令和7年度自主防災会リーダー研修

 蒲郡市役所

自主防災会リーダー研修

- 1 蒲郡市で発生する災害のおそれを知る
- 2 自主防災活動の必要性
- 3 住民の自助意識を高める(災害への備え)
- 4 住民主体の避難所運営の必要性について
- 5 ペット同行避難について
- 6 施設設備説明(非常照明、コンセント、空調)
- 7 グループワーク
- 8 ベッド、パーテーション設営、備蓄倉庫確認

1 蒲郡市で発生する災害の おそれを知る

- ・想定地震

南海トラフ地震(最大震度7)

- ・主な被害 ※理論上最大

人的被害－死者 約500人

物的被害－約 7,600棟

最大津波高 5m 津波到達時間55分

※昨年8月南海トラフ地震臨時情報が発表されています



平成26年5月30日愛知県発表
愛知県東海地震・東南海地震・南海地震等被害予測調査より

建物の倒壊



家具や物が 散乱



総務省消防庁ホームページ

ブロック塀・ 石垣の倒壊



(財)消防科学総合センター
<http://www.isad.or.jp/>

津波の被害



(財)消防科学総合センター
<http://www.isad.or.jp/>

土砂災害

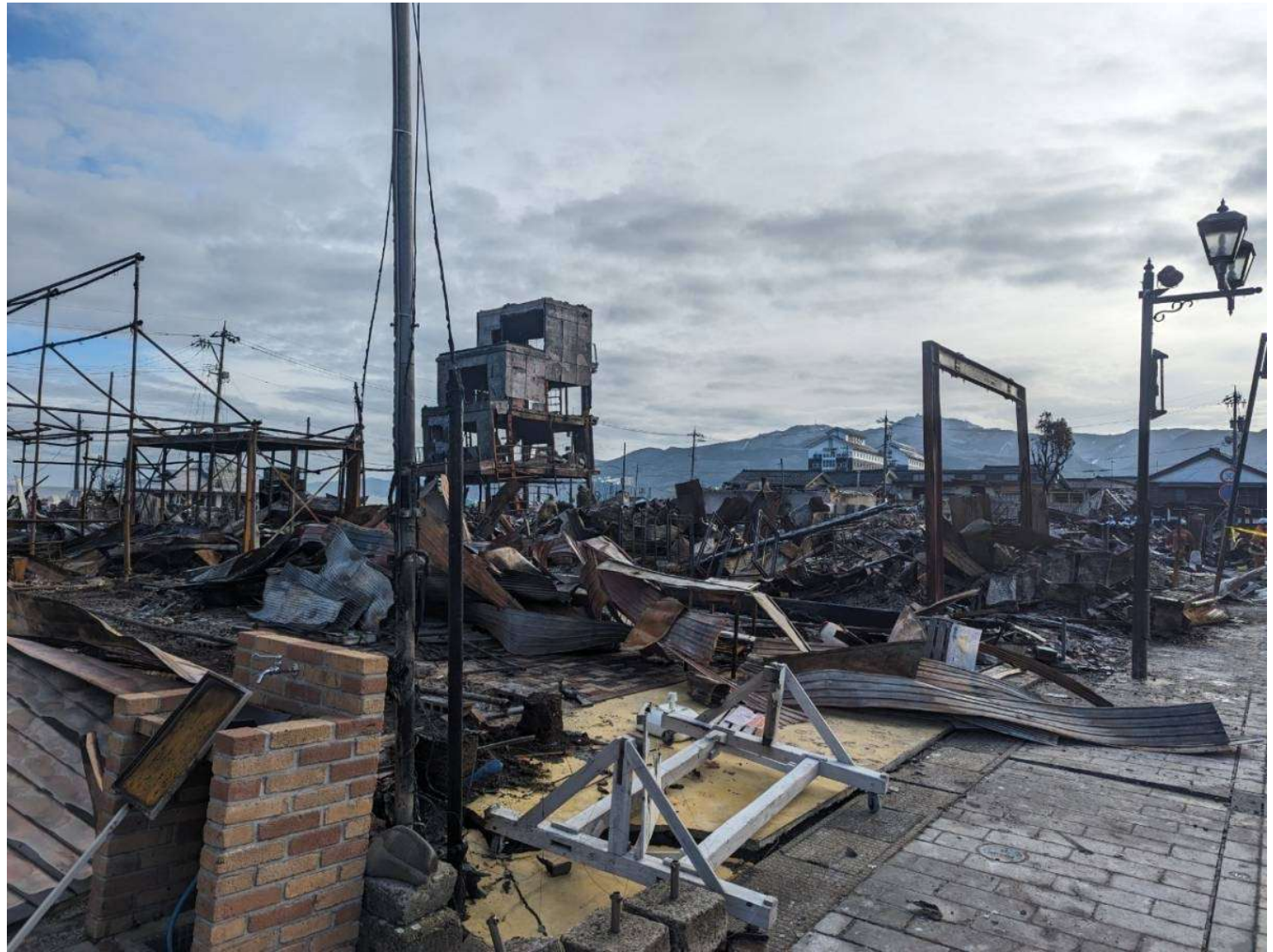


(財)消防科学総合センター
<http://www.isad.or.jp>

道路の損壊 ・液状化



延焼火災



ライフライン の供給停止

- ・水道
- ・電気
- ・電話
- ・インターネット



財団法人 消防科学総合センター
<http://www.ssd.or.jp/>

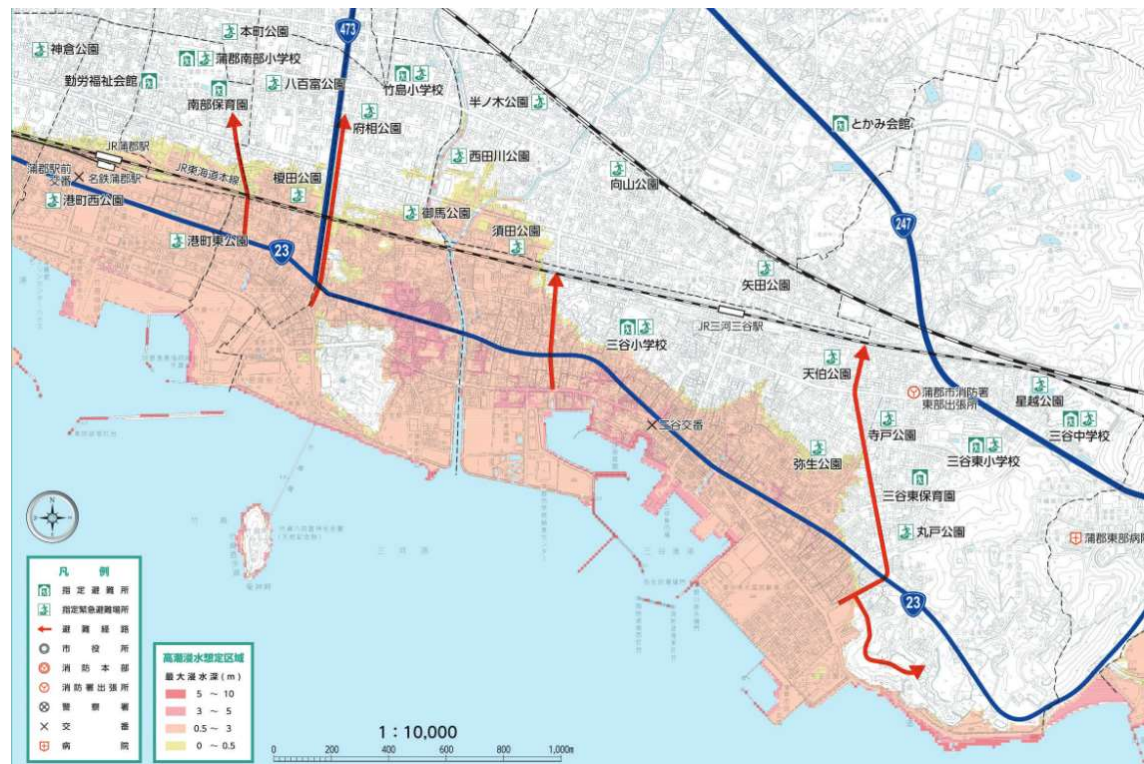
下水道 使用不可



蒲郡市に想定されている大雨や台風等の被害

大雨や台風による主な被害

- ・大雨による洪水、内水氾濫
- ・土砂災害
- ・台風等による暴風
- ・高潮による浸水 等



大雨による洪水

内水氾濫

河川の氾濫



土砂災害



強風・竜巻による 家屋の倒壊



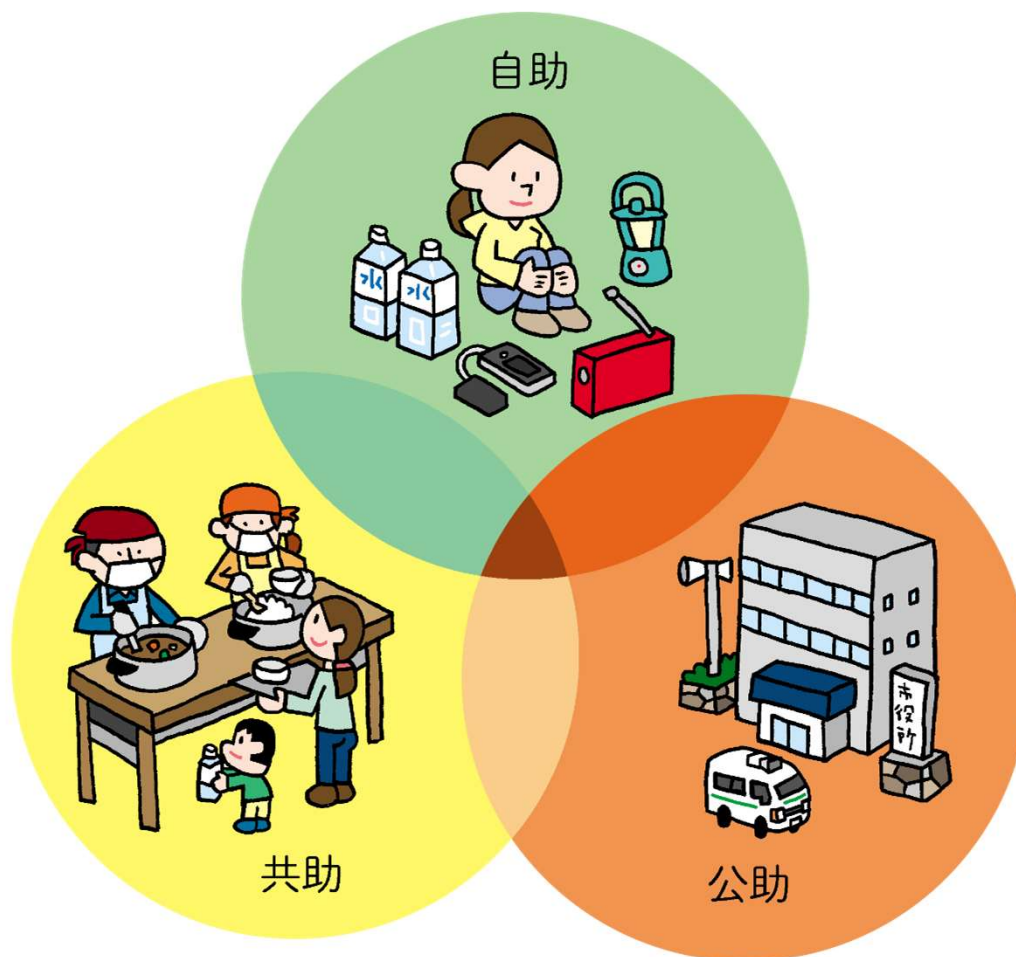
ライフライン の供給停止

- ・水道
- ・電気
- ・電話
- ・インターネット



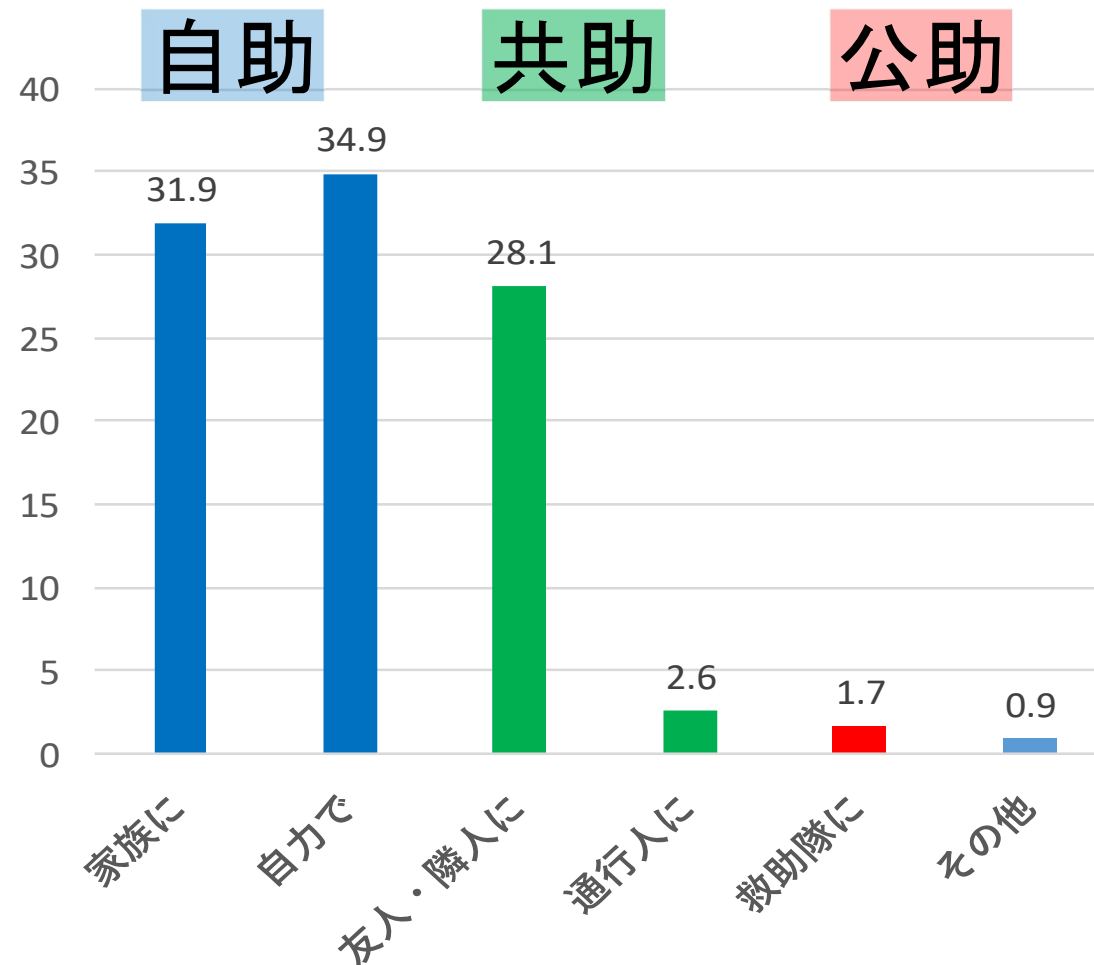
財団法人 消防科学総合センター
<http://www.ssd.or.jp/>

2 自主防災活動の必要性

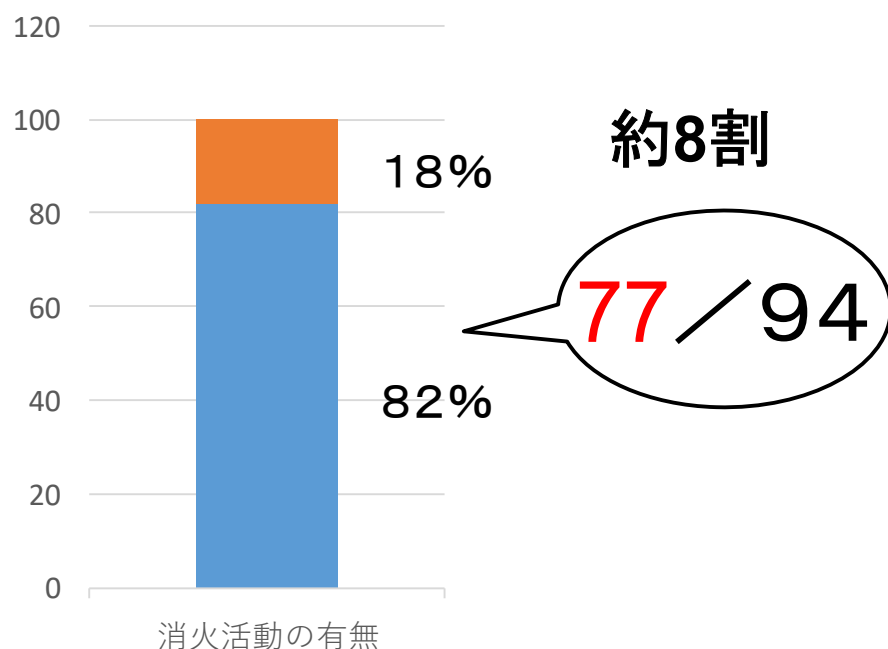


災害が発生した地域における対応の実態(救助活動の実態)

阪神・淡路大震災において、倒壊 家屋からの救助活動の主体



阪神・淡路大震災に、神戸市内で調査した94か所の火災現場のうち、**約8割の77か所で市民消火活動**が展開された



参考: 日本火災学会

長田区西代市場火災

自治会リーダーの呼びかけで
200人以上のバケツリレー
倒壊家屋を動かし延焼防止

東灘区御影西町火災

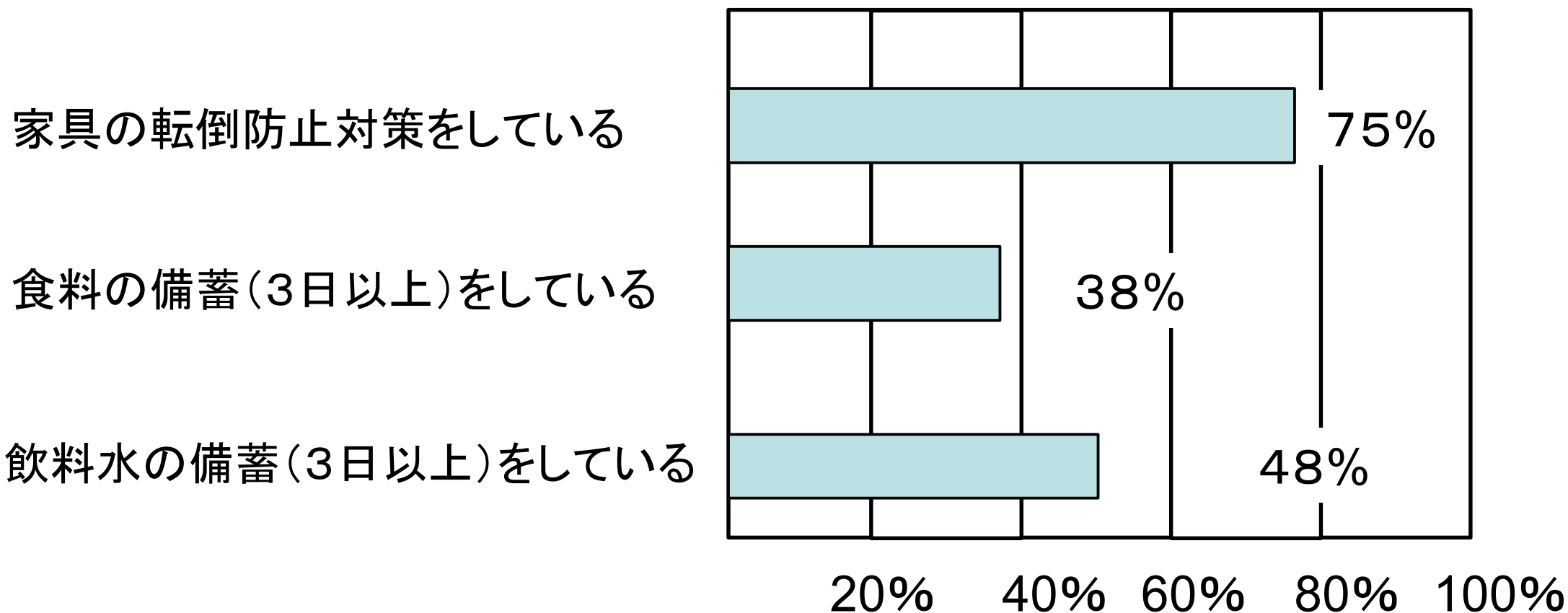
子どもを含む約300人がバケツ
リレー

長田区東尻池町火災

近隣企業からポンプ、ホースな
どの提供を受けて活用

近年、自助の意識は高まっているが、まだ不十分

※昨年度のリーダー研修アンケート結果より(回答者430人)



地域とのつながり・結びつきが希薄化する現在、**安心・安全な暮らしを守る地域社会づくり**には、「自助」・「共助」の力を高める自主防災組織の活動が不可欠

自主防災組織の日常における活動の目的

【自助力の向上】

各家庭での
防災対策の促進

【共助力の向上】

地域の
災害対応力の向上

- ①日頃からの災害への備え
- ②訓練やイベントを通じた地域の繋がり強化
- ③自主防災活動に対する理解と協力
- ④他の地域の自主防災組織との連携
- ⑤地区防災計画の作成による防災意識の向上
及び訓練の実行

今年度から
防災士の資格取得費用を補助します

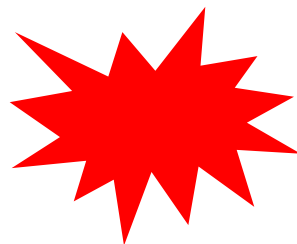
自主防災組織の必要性 まとめ

- ・災害時（特に直前、直後）は、「自助」と「共助」の防災活動が重要です
- ・自主防災組織は、自助・共助の役割を果たすとともに、災害による被害を予防し、軽減するための活動を行います

3 住民の自助意識を高める

自助の重要性と
災害への備え（備蓄）

災害から「いのちを守る」ためには、様々な視点から「災害に備える」ことが重要



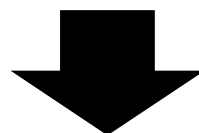
大規模な災害



いのちの危険
に見舞われる

ライフライン
が被害を受け、
当面の間使えない

必要なものが
入手しづらい



災害への備えが重要

①事前に身の安全を守り、危険を回避する

住宅の耐震化

室内の転倒・落下・移動防止措置

地域特性（危険把握）

その他

（避難行動マップの作成、想像力、判断力、行動力の向上）

②被害を最小限に留める

防火対策・初期消火

応急手当

救出・救助

③生き延びる

非常持出品、備蓄品の整備

情報収集手段、家族の安否確認方法

事前の備え(備えておく物)

①非常持出品

避難するときにまず**持ち出す**べきもの。

被災した最初の1日間をしのぐために、必要最小限を備える。

例えば

現金、スマートフォン、食料、飲料水、救急用品、カッパ、懐中電灯、ラジオなど

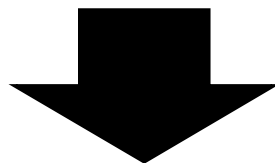
②備蓄(非常備蓄品)

発災後の**避難生活(3日程度)**に必要なもの。

救援物資の到着までに最低限必要なモノを準備しておく。

例えば

食料・飲料水・簡易トイレ・生活用品など



家族構成や一人ひとりの特性に合わせて準備

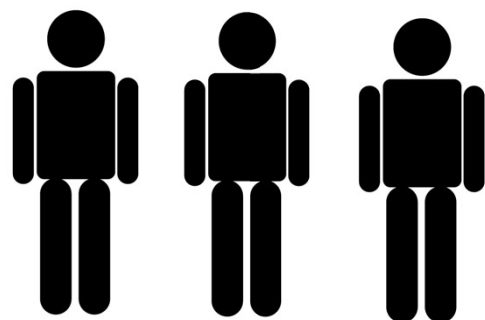
蒲郡市の公的備蓄状況

蒲郡市の公的備蓄物資支給対象者は、
「災害の発生により、家屋の倒壊又は焼失のため、避難所で生活することを余儀なくされ、かつ物資の確保が困難な者」とし、発災直後からの想定避難者数である
1日平均8,400人に基づき備蓄しています。

各家庭で水、食料、日用品を備える必要があります！

たくさんの人に知ってもらうことが重要

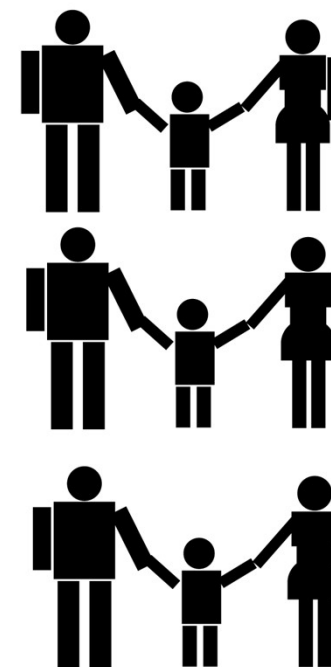
地域の防災リーダー
(自主防災組織)



伝達



地域住民



地域の防災リーダーが、災害への備えの必要性を理解、実践し、地域の人たちに伝えていきましょう。

4 住民主体の避難所運営の 必要性について



避難所の開設から撤収までの流れ

災害発生

初動期 (災害発生当日～数日)

災害が起きた時

□自分と家族の身の安全を確保

災害が
おさまったら

□隣近所で声をかけ、助け合いながら避難
※自力で避難できない人を支援
※安全な範囲での共助による救助、初期消火

避難した場所で

□避難してきた人を、総代区や常会などの班ごとに確認
□行き先(避難所なのか自宅なのか、知り合いの家など)
を自ら判断してもらう

避難所の開設から撤収までの流れ

避難所（病院、福祉避難所を含む）
へ行く人



避難先

- 建物の安全確認
（施設管理者、避難所開設担当
職員と相談して開設）
- 開設準備、受付、建物の制限
- 市災害対策本部への連絡
- 遺体の一部受入れ等

自宅に戻る人、知人宅など



- 支援を受ける必要がある場合
（家が損壊したが、自宅敷地内
で生活をする場合、車で生活す
る場合等）
- 避難所利用者登録

避難所を利用する人たち（避難所外避難者も含む）が
主体となって運営できるよう、避難所運営委員会を組織する



安定期 (数日～3週間程度)

人々の要望が多様化する時期。避難生活の長期化による心身の機能の低下に注意。

撤収期 (ライフライン回復時)

避難所の集約や統廃合などにより、施設本来の業務再開準備を行う。

「生活の質」の向上、早期の「生活再建」を目指すには・・・

地域住民

避難所の運営

避難所開設担当職員

災害対策本部との調整（被害状況、物資の調整）

施設管理者（学校職員）

避難所の施設管理、早期の学校教育の再開、児童・生徒の心のケアの対応

市役所

スフィア基準を踏まえた備蓄、設備の確保

役割分担を明確にすることが必要！！

スフィア基準とは

「トイレの確保・管理」

20人に1基のトイレを基準に、簡易トイレ等の備蓄

「生活空間の確保」

3. 5m²以上の居住スペースを基準に、ベッド、パーテーション等の備蓄

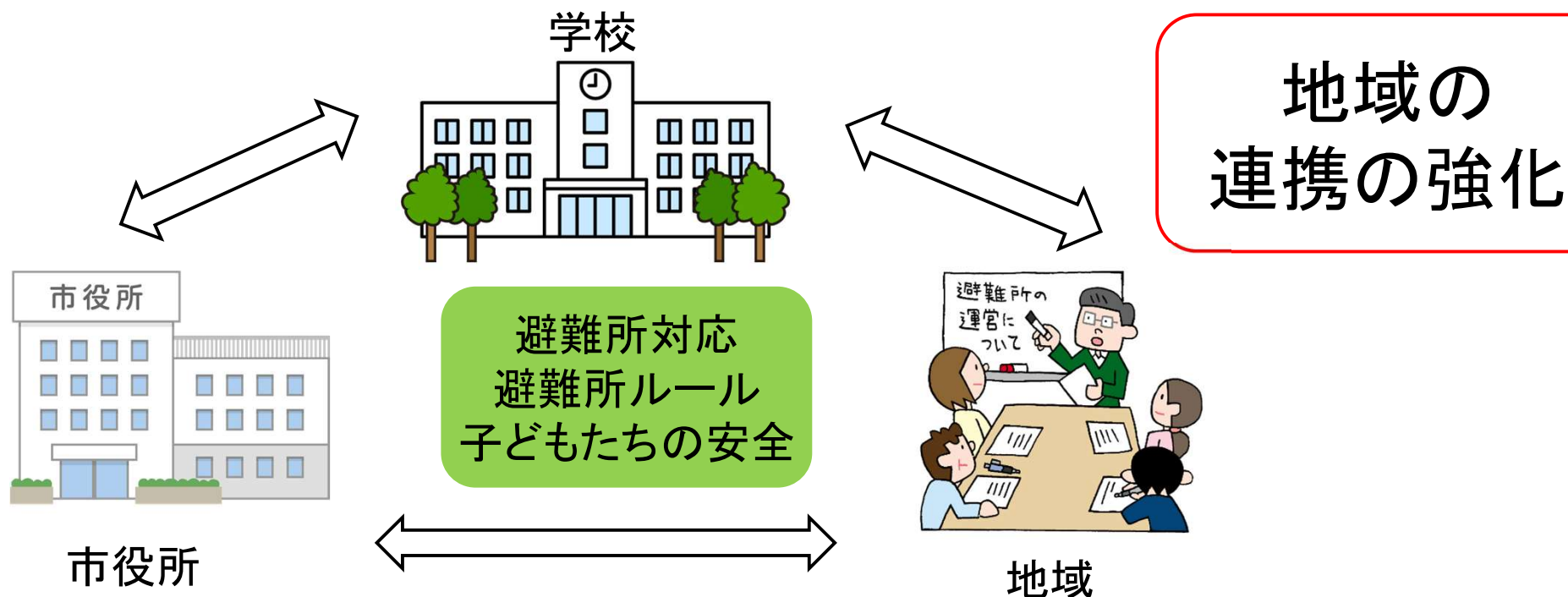
「食事の質の確保」

厚生省のエネルギー摂取目安を満たしたバランスの取れた食事の提供

「生活用水の確保」

50人に1つのシャワーや仮設風呂、洗濯機の確保

避難所における自主的な運営の必要性



平常時からのかかわりが重要。避難所開設・運営について
学校、近隣住民、行政であらかじめ協議しておく。

顔の見える関係の構築

実効性・継続性を高めるために**地区防災計画**の作成が有効です。

避難所における女性の悩み・・・

- 洗濯物を干すスペースがなくて困った。
- 授乳やおむつ替えをどこでやればいいのかわからない。
- 下着の替えが少なく、サイズも大きいものしかない。
- 避難所で子供が夜泣きし、周囲の目を気にしながらずっと抱っこしていた。
- 男女同じトイレを使用するため、行きたいタイミングで行くことができなかった。
- 生理用品を配るのが男性だったため、取りに行くのを躊躇した。(しかも、数が少ない...)
- 炊事、掃除の割り当ては女性だけだった。

避難所における女性の悩み・・・

熊本地震におけるエコノミークラス症候群の入院患者、

およそ77%が女性

でした。

(次のような分析)

- ・仮設トイレが男女別でなかった...(行きにくい)
- ・不衛生だった...(行きたくない)

→トイレ行くのを我慢するため、水分の摂取を減らしたことが原因。

女性の視点で避難所運営を改善

- 女性専用スペースの設置
→ 更衣室、授乳室、物干しスペース確保する。
- 生理用品、下着の備蓄
→ 管理、配布等も女性が担当する。
- トイレは男女別で設定
→ 発災後直ちにトイレに行きやすい環境作りをする。
- 夜間の巡回警備
→ 安心できる避難所生活の確保。
- 女性向けの相談窓口の設置
→ 女性の悩みは女性しかわからない。相談しやすい環境作り。

5 ペット同行避難について

避難所運営者のための
ペット同行避難マニュアル



令和4(2022)年3月
令和7年2月改訂
蒲郡市 危機管理課

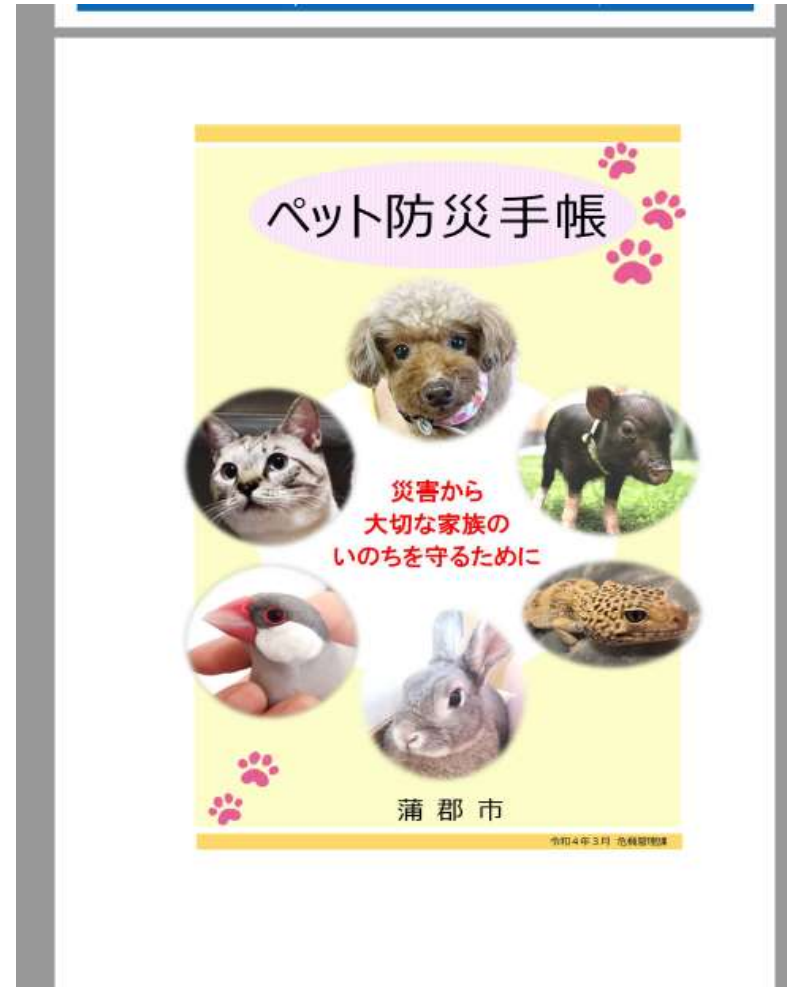
飼い主にとってペットは...

- 大切な家族です！
- 心の支えです！
- なくてはならない存在です！

しかし避難所では...

- 子供が怖がるし、咬まないか心配...
- 臭いや病気など、衛生的に心配...
- 鳴き声がうるさくて眠れないかも...
- 強いアレルギーがあって、安心できない...

双方が歩み寄るためのマニュアルです！

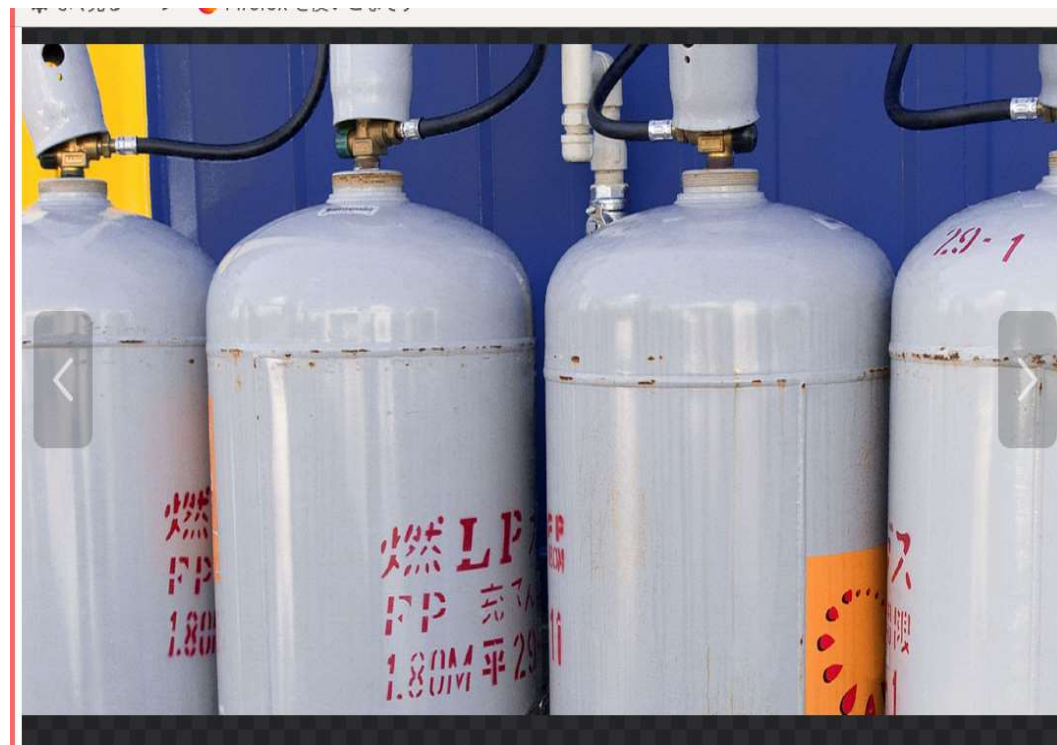


解決できない問題発生時は、蒲郡市災害対策本部へ(66-1111)

6 施設設備説明



6 施設設備説明



7 グループワーク

- 1 各地区ごとに進めていただきます。
- 2 進行役や記入役等の役割はあえて決めません。
- 3 机上の文房具は自由に使用して下さい。
- 4 グループワーク1では、A4のワークシートを使用します。
- 5 グループワーク2では、大きい白い地図を使用します。
- 6 道具等に不備がある場合は近くの職員に伝えて下さい。
- 7 最後に他の地区の地図を見比べます。

災害による地域の危険の整理

ハザードマップを確認し、皆さんの地域の危険について話し合いましょう。

- ①想定震度は？
- ②津波の可能性は？
- ③液状化の可能性は？
- ④土砂災害の可能性は？
- ⑤その他の危険性は？

ワークシート(地震)

自分の地域における地震時の被害を、ハザードマップや被害想定資料で確認してみましょう。

① 想定震度

震度

② 津波の可能性

津波の可能性 あり・なし / 基準水位

③ 液状化の可能性

液状化の可能性 あり・なし

④ その他、地震によって地域に生じる被害・影響等

地震によって、津波や液状化以外に、どのような被害や影響があるか考えてみましょう。

グループワーク 2 《20分》

①

ハザードマップの情報を大きい地図に書き移して下さい。

②

ハザードマップに載っていない情報を追加して下さい。

③

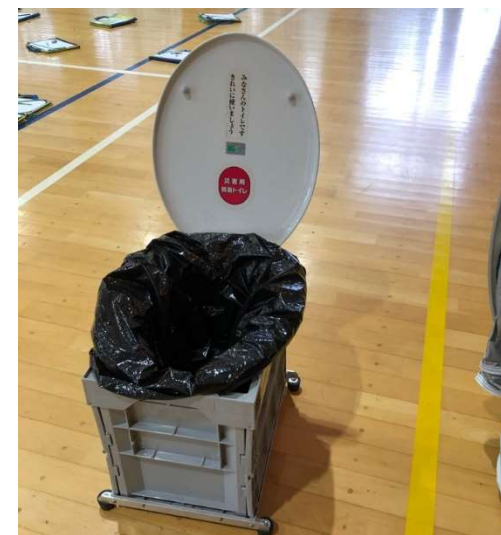
災害時に使える資機材（道具）がある所をチェックして下さい。

④

他の地区が作成した地図を見てみましょう！

グループワーク
お疲れさまでした。

8 資機材の取扱い、倉庫の 確認





観光交流立市
がまごおり